

持続可能な社会の実現に向けた授業実践を通して得た学び

杉澤咲楽・土井うたの

1. はじめに

2017年に告示された技術・家庭科（家庭分野）の学習指導要領では、家庭科教育の目標の一つとして、「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成する」とある。そこで、私たちは「グローバル市民を目指そう」という目標のもと、住生活に目を向けた授業を構想した。私たちが考える「グローバル市民」とは、「伝統的な住まいや生活文化を知り、自分のライフスタイルを見直して暮らし方を工夫することができる人。また、自分も社会の一員だという自覚を持ち、持続可能な社会の構築に向けて、主体的に問題解決に取り組んだり、考えて行動したりできる人」のことである。学習前の生徒の実態を調査したところ、住まいに関わる生活経験や「グローバル市民」の認識度には個人差があることが分かった。これを踏まえ、私たちは人文社会科学部の学生と連携して授業づくりを行った。

2. 人文社会科学部と連携したカリキュラムマネジメント

「グローバル市民になろう」という目標を掲げ、私たち教育学部の学生は「住生活を中心とした地域に目を向けた学び」から、他方で、人文社会科学部の学生は、「食生活・衣生活を中心に世界の問題に目を向けた学び」からアプローチした。

私たちは地域教材として、弘前市指定文化財で、江戸時代・武士の住まいであった「旧岩田家住宅」を取り上げた。気候風土に合わせた住まい方の工夫や江戸時代の武士の暮らしを生徒に気づかせることによって、伝統的な住まいや生活文化を学ぶことができるのではないかと考えたからである。

10時間（2時間×5回）の学習の流れは以下の通りである。

	学 習 活 動
1・2時間目	日本の住まいの変遷を社会科の教科書を用いて調べ、それぞれの特徴が現代の住まいにも受け継がれていることを理解する。
3・4時間目	旧岩田家住宅を見学し、気候や職業に合わせた住まい方の工夫に気づく。
5・6時間目	旧岩田家住宅の見学を振り返りながら、和洋折衷な住まい方の工夫や家族に合わせた暮らしを考える。
7・8時間目	住居感をベースに、自分にできるより良い住まい方を考える。
9・10時間目	グローバル市民になるために、衣生活と食生活に関する世界的な問題に気づき、SDGs との関係や今自分にできることを考える。

10時間の学習を通して、生徒自身が身近な問題から考える活動を取り入れることによって、地域で受け継がれてきた生活の工夫や社会や経済、環境に関わる世界的な課題を生徒自身の生活に落とし込むことを大切にしたい。10時間の授業の最後にSDGsを取り上げ、今までの学びがSDGsにつながっていることに気づかせたい。

3. 中学生、大学生がそれぞれ得た学び

題材の学習後には、中学生全員が授業を受ける前よりも明確に「グローバル市民」についての認識を深め、持続可能な社会の構築のために自分たちに何ができるか具体的に考えることができた。以下に中学生の回答例の一部を示す。

(例) ●授業を受ける前、私はグローバル市民とは、

その地域のことを知り、行動に移せる人 だと思っていました。

●授業を通して、私はグローバル市民とは、

自分が生活していく中でのスキルを知り、そのことを世界や地域の問題にまで知識を発展することができる人のこと だと思っています。

●これから私は、

自分の住む家や地域のことを知って、その中にある問題をきちんと自分で考えられるようになりたいです。また、SDGsにも目を向けられるようになりたいです。

今回の授業を通じた私たち大学生にとっての学びとして、「地域教材による学びは、生活に身近な教材で体験的な学習を行い、風土や生活、暮らしの中から生まれた文化に触れることにより、生活文化を伝承し創造しようという意欲を育てることができる。世界に目を向けた学びは、世界に目を向けて自分の生活とのつながりを理解するだけではなく、家庭生活や地域の課題を解決しようとする意欲を育てることができる。」など、それぞれにメリットがあり、これらをうまく取り入れることによって、生徒の多様な意見を引き出すことにつながり、生徒の学びを広げられるということにあらためて気づいた。

4. おわりに

教育というのは、学校における教育だけではなく、家庭や地域、社会など、生徒を取り巻く周囲が協力して取り組むことで、持続可能な社会の担い手を育成することにつながると考えられる。地域教材の活用や人文社会科学部と連携した今回の経験を生かし、さまざまな視点から授業づくりを工夫していきたい。

(杉澤咲楽 弘前大学教育学部)

【参考・引用文献】

文部科学省 (2017) 「中学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 技術・家庭編」、p.16.

弘前市仲町伝統的建造物群保存地区 旧岩田家住宅 <<http://nakachou.main.jp>> (2019.10.5 閲覧)